

- ◆開催方法: 全面 Web (Zoom ウェビナー)
- ◆受講人数: 22社 36名 ※受講者の入社後平均年数: 7.99年

満足度の理由を教えてください

(良かった点)

説明・資料が分かり易くまとめられていた (9) / 高圧ガス保安法の理解が深まった (2)
時間通りの進行で割り振りなど適切だった / これまで業務で活用してきた知識の再確認ができた
概要をよく理解していなかったため導入部分が分かり易かった
知っている内容だったが、自身が説明する際の言語化用のネタにできた
社内で高圧ガス保安法を軽く教わっていたが詳細まで学ぶことができた
基礎的なことから丁寧な説明があり、初心者にもわかりやすい内容だった
通常業務では得られない業界として知っておくべき知識が丁寧にまとめられていた
高圧ガスバルブは当社分野外の領域だが、高圧ガス保安法の定義や要点が分かり易く学べた
高圧ガス保安法における完成検査をスキップできることが、顧客からみた高圧ガス認定品を使うことの動機付け
であることが分かった
認定範囲や普段の業務で何気なく扱っている材質や規格にも、実際には複雑な条件や区分があることを学び、自身の業務をより理解できた

(悪かった点、改善点)

少し内容が難しかった / 休憩はできれば10分欲しかった / もう少し KHK の説明が欲しかった
強いて挙げるなら時間が短かった / 知り得ている以上の情報は無かった
資料を読んでいるだけのように感じた / 継手認定(毒ガス認定)も知りたかった
写真など多くあれば、より見易かったかと思う / 設備試験や強度計算へのフォーカスが欲しかった
公開できる範囲で申請の具体例があれば良かった / 業界に入ったばかりの人向けの講義があれば良いと思う
事前配布資料の読み上げ部分が少し多かったように思える
P15の図は分かり易かったが、P11・P14の図は個人的には分かり難かった
専門的な用語が多々あり、業界に入ったばかりだとついていけない場面があった
ほぼ大臣認定の説明だったので、主題に「大臣認定」が入っていると尚良かった
高圧ガス認定を現在取得している企業向けには良い内容かと思うが、今後検討中の弊社には当てはまる内容ではなかった
大臣認定取得工場ではない企業にはあまり役に立たない話だったように思えた。また、現在新規で工場認定を取得することもできない状況の企業向けに、主に認定工場の企業を対象とするなどの案内があれば良い
予備知識がなかったため、初めて耳にする言葉が出てきた際、説明を聞いてもちゃんと理解できなかった(今後復習しつつ、理解していきたい)

特に参考になった講義内容を教えてください

高圧ガスの定義と分類 (8) / 大臣認定制度 (8) / 法令の体系 (2) / VPN 認定の概要 (2)
制度の歴史 / 申請に必要なもの / 高圧ガスの認定範囲 / 耐圧・気密・肉厚測定
確認調査におけるポイント / KHK 認定審査での設計部門の注意点 / 法規・材質・書類フォーマット例の提示

他の方へ受講を推奨・進言する理由

法令を基礎からよく理解できるから (5) / 高圧ガス品の取り扱いがあり業務に必要な知識だから (4)
分かり易い講義なので是非受講すべき / 分かり易く役立つ情報を入手できるから
製品開発で知っていて損はない知識と思うから / 法令と大臣認定制度の理解を深めてもらうため
高圧ガスバルブについて理解が深まると思うから
高圧ガスを理解している方も再度理解が深まる機会だと思うから
これまで学ぶ機会のない内容だったが、バルブに携わる上で避けては通れない重要な内容であると感じたから
なぜそのような規格があるのか。どのようにして決まったのか。などを理解することで今後の仕事に繋がるから

以上